

「貴乃花支持。白鵬傲慢。八角だらしない（下品）」

今回の日馬富士暴力事件、まだ真相が明らかではないので今の時点で分からない点が多いが、被害者側の貴ノ岩、貴乃花を非難する意見には同意できない。相撲協会での八角、貴乃花の主導権争いや、貴乃花とモンゴル勢の確執も背景にあるのだろうが、日馬富士が貴ノ岩の頭を殴打し切創を負わしたのは事実のようだ。つまり刑事事件（傷害事件）だ。かつてシゴキ（いじめ）で死者まで出した事件も表沙汰にしようとしなかった相撲界に、貴乃花側が不信感を持ち、（相撲協会には届け出ていたという報道と、届け出ていないという報道がありどっちが真実かは分からないが、）警察に届け出て、相撲協会には非協力的だという事は理解できる。

次に、今回の事件に関連して、白鵬の行動は僭越だ。まず、千秋楽で「日馬富士と貴ノ岩をもう一度土俵に上がらせて相撲を取らせたい」と言った事は、おかしい。両力士の処遇を決定する権利は白鵬にはないし、加害者の日馬富士と被害者の貴ノ岩を同列に扱っているのも間違っている。貴ノ岩は被害者なので、白鵬ごときに言われなくてもけがが治れば復帰はできる。（ちなみに万歳三唱も非難されているが、それは別にいいんじゃないかと思う、、、）。あと、白鵬が「貴乃花が巡業に行くなら力士は参加しない。これは力士の総意だ」と言った事、これは僭越の極みだ。力士が上位団体（意思決定団体）たる協会人事、行動に口を出すのは組織のガバナンスからいってあり得ない（”力士の総意”というのも疑問だ）。こんなことを許しては組織というのは成り立たない。言った瞬間に、八角理事長は「一力士が言う事ではない。僭越である。慎め」と白鵬を一喝すべきであった。白鵬は僭越であり増長している。八角理事長は組織の長としてはだらしがない（グリップが効いていない）。また、冬巡業から貴乃花を外した処置もあってはならない判断だ。あるいは、もし自分の貴乃花憎しの感情のために白鵬の言動を利用したのだとしたら下品な男だ。

あと、これからは推測になるが、貴乃花が頑なになっている背景には、相撲界の八百長体質打破と、朝青龍、白鵬のように品格がなくただ強ければいいというモンゴルのものに対する嫌悪があるのかもしれないと思う。昔、貴乃花が宮沢りえと別れたときに理由を問われ、ごちゃごちゃ言い訳をせず、「愛情が無くなったから」と言いきっているのを見たときに、まっすぐに堂々とした奴だなと思った記憶がある（かなり昔なので記憶違いだったらすいません）。まだ、真実が明らかではないが、今回も貴乃花が、八百長撲滅、力士の品格向上という大儀のために戦っていると信じたい。

あと、蛇足ですが、日馬富士が引退時に「横綱として責任をとって引退する」と言ったが、「横綱」としてではなく「人」として責任を取るべきだ。勘違いするなと言いたい。